

# ⑰ 「農地は子や孫からの借り物」次世代につなぐ農業へ 【農事組合法人 川根美味しいたけ（川根本町）】

基盤整備

生産性向上

## ■活用した事業

「農地中間管理機構関連農地整備事業 下泉原地区（令和2年～令和6年度）」を活用し、小区画不整形で分散した圃場を集積・集約。乗用管理機に対応した大区画化、園内道路の整備等による生産効率の高い茶園を実現。

## ■経営の概況

農事組合法人「かわね山処苑」は平成19年に設立され、平成30年に菌床シイタケを生産する農事組合法人「川根美味しいたけ」と統合し、周年雇用を実現した。

18haの自社茶園を有し、製茶工場では120Kの2ラインで荒茶を製造。JGAPと有機認証を取得し、国内に加え台湾・EU向けにも対応している。

さらに、農地中間管理機構と連携し、荒廃農地の解消や農地集積を進め、地域茶園の受け皿として基盤整備に取り組んでいる。

## ■取組内容

### ・基盤整備

受入れる茶園は、畝の向きが不揃いで小区画が不規則に並ぶなど、乗用管理機の活用が難しい状態にあった茶園を集積・集約し、園内道路整備などの基盤整備を進めるため、地元負担なく実施できる「農地中間管理機構関連農地整備事業」を活用。5年間の工期で、7haの大区画整備が完了した。

現在、この整備済み区画は3名の担い手が引き受け、「つゆひかり」「おくゆたか」などの品種が栽培されており、茶商のニーズに応える収益性の高い茶園づくりが進んでいる。

### ・今後の取組

先人から教わった「農地は子や孫からの借り物。次世代にきちんと引き渡す」という思いを大切に、今後も地域の茶園の受け皿となり、規模拡大を進めていく。

基盤整備前



基盤整備後



<写真：静岡県>

改植後の圃場



改植直後  
(令和5年)



令和8年

<写真：美味しいたけ>